

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	体育
----	----

種目	保健
----	----

発行者略称	文教社	教科書名	わたしたちの保健
-------	-----	------	----------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- 学習指導要領の目標・内容に即した学習課題が明確に設定されているとともに、基礎的・基本的な学習内容が本文に簡潔にまとめられている。
- 児童や養護教諭などのキャラクターが登場することにより、課題解決の手助けになる事柄を提示し、生活環境における課題を把握して改善の仕方を学習できる構成になっている。

2 内容について

- 各単元の導入では、作業や資料を通して学習課題を明確につかむことができるようになっている。また、毎時間の学習課題が明確に設定されている。
- 基礎的・基本的な学習内容が本文に簡潔にまとめられている。
- 学習活動が、「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」など明確に提示されており、児童が学習の流れを理解しやすいように工夫されている。
- 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、教科書に自分の考えを書き込んだり、意見を交流したりする場面が設定されている。また、「活用して深めよう」では、学習したことをもとに自分の考えを深めるための工夫がなされている。
- 各単元末に「学習を振り返ろう」のページが設定されており、学習内容を普段の生活にいかしていくことができるよう構成されている。
- 「広げよう」や「資料」のコーナーに、学習内容に関連する情報が提示されており、児童が主体的に調べ学習ができるようになっている。
- 「けんこうな生活」では、理想的な生活行動の一つ一つがパズルのピースとして描かれており、それらが組み合わさることで健康な生活が成立するということがとらえやすくなるよう工夫されている。
- 「育ちゆく体とわたし」では、入学時からの身長伸びを表とグラフに表す活動を通して、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
- 「心の健康」では、児童が遭遇しそうな場面を設定し、その対処の仕方や心の状態を考えながら課題解決が図れるよう構成されている。
- 「けがの防止」では、具体的な場面を複数提示し、児童の経験を振り返りながら学習することで、考えを深めることができるよう工夫されている。また、発展的な学習として、「自然災害によるけがの防止」を取り上げている。
- 「病気の予防」では、病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることが、一目でわかりやすい資料を掲載している。また、「資料」のコーナーで、児童にとって身近なインフルエンザについて、感染者報告数の推移のグラフとともに詳細に示している。

3 資料について

- 「情報コーナー」には学習内容に深く関連する情報が、「発展」には社会的関心が高まっている事柄についての資料が掲載されている。
- 「病気の予防」では、「アスリートからのメッセージ」が掲載されており、健康的な生活を送ろうとする意欲を高める工夫がなされている。

4 表記・表現について

- 見開き2ページで構成されているところとそうでないところがある。
- 2人の児童のキャラクターが会話をしながら学習を進めていくことによって、児童が学習内容を自分の課題としてとらえることができるよう工夫されている。
- 重要なことは、本文中に太字で示されている。

5 全体的な特徴、その他

- 自分自身の生活行動や心身の成長を見つめ、その中から学習課題を発見し、基礎的・基本的な知識を習得したり、活用したりしながら課題解決ができるよう構成が工夫されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	体育
----	----

種目	保健
----	----

発行者略称	大日本
-------	-----

教科書名	たのしいほけん3・4年	たのしい保健5・6年
------	-------------	------------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を始めに明示し、キャラクターの吹き出しで課題解決へのヒントを与えることで課題の把握や改善の仕方を学習できるようになっている。 ○「病原体がもとになって起こる病気の予防」では、「資料」で詳しく補足説明を行い、基礎的・基本的な内容を理解できるように工夫されている。 ○単元の最後に「もっと知りたい」が設定されており、習得した知識などを活用し、考え判断する項目を設けた構成になっている。 <p>2 内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題→話し合う→調べる→まとめるという流れになっており、見通しをもって学習できるようになっている。また「資料」の補足説明が加えられており、基礎的・基本的な知識を学習できるよう工夫されている。 ○「活用」の記述欄を設け、学んだ知識や自分の経験をいかして表現できるように工夫されている。 ○単元の導入でゲームの要素を取り入れ、意欲を高められるように工夫されている。また単元の最後の「もっと知りたい」で調べる活動を取り入れ、発展的な学習へとつながるよう工夫されている。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「保健室の先生」「校医さん」などのイラストが用いられており、基礎的・基本的な内容の習得がされやすいように工夫されている。また、実際にゲストティーチャーで呼ぶ授業展開も考えられる。 ○各項の扉ページでは、各章に関連する写真やイラストを取り入れるとともに適切な学習の進め方の例を図で示し、学習の見通しをもたせやすくしている。 ○「はってん」を設け、補充資料が豊富の提示することで、発展的な学習ができるように工夫されている。 ○調べ学習に活用できるようにホームページアドレスが多く掲載されている。 ○児童にとって身近な課題であることと受け取るために有効な児童の経験や考えを記述する欄が用いられている。 ○「3・4年 健康な生活とわたし」（3 体のせいけつ）P10では、課題・活動・まとめという学習の流れが児童の思考の流れに合っている。 ○「5・6年 けがの防止」では、けがの防止と危険予測を考えさせる資料が児童にとって、考えやすいイラストである。また児童に考えさせ、記述させる資料もある。 ○「5・6年 病気の予防」（2 病気の起こり方）の資料では、病気が様々な要因から関連して起こることがわかりやすいイラストになっている。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色遣いが淡いが、イラストは児童にとって親しみやすい印象である。 ○「しりょう」で補充説明をしたり、学習に関連する内容を「ミニちしき」として取り入れたりとすることで、児童の理解をより深くするよう工夫されている。 ○子どものキャラクターを用いて学習へのヒントを与えたり、説明をしたりすることで課題解決につながるようにしている。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「課題提示」→「学習方法の提示」→「まとめ」→「知識の活用」という流れで構成されており、思考・判断・表現する場面が多く設定されている。 ○1見開き1単位時間の構成となっており、見通しをもって学習できるようになっている。 ○単元の導入でゲームの要素を取り入れたりと、シールを使って活動させたりと、児童に興味関心をもたせ学習に取り組ませるように工夫されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	体育
----	----

種目	保健
----	----

発行者略称	光文
-------	----

教科書名	小学ほけん3・4年	小学保健5・6年
------	-----------	----------

所 見

1 学習指導の教科の目標とのかかわりについて

- 挿絵や写真資料（せきの飛沫や病原体、薬物）が非常に具体的に明記してある。
- 本時の学習課題や内容をつかみにくく感じるが、本文の中で大切な部分を太字で明記するなど、学習内容を落とさせない工夫がある。
- はじめに「つかむ」で学習内容を抑え、その後に具体的な事象を取り上げた解説をしている。

2 内容について

- 見出しページあり。
- 学習内容（つかむ）を提示してから具体的な場面へ進んでいる。
例：いろいろな病気→原因→解説→かぜ
- 体の防御作用を図解で説明されている
- 「他の教科などのかかわり」「ほかの学年の保健の学習」に関連して学べるようになっている。
- 一度学習した内容をふり返らせる機会を意図的に設けている。

3 資料について

- インターネットのホームページアドレスが明記されている。
- ポスターやマークなど、身近で目にするものが掲載されている。
- 挿絵や文章だけでなく、実際の画像や具体的な写真が豊富に掲載されている。
- 3・4年2 育ちゆく体とわたしP22, 23では男女の体の中の変化について1ページずつ使っており説明内容が細かい。
- 5・6年3 こころの健康では、「こころと体がつながっている」体内の図があり、内臓器官とのかかわりが見やすい。また、P8 不安やなやみでは、具体的な対処法の例が記述されており、対処法が考えやすい資料となっている。
- P26からの自然災害（地震・津波）に対して、身を守る方法が写真や具体的なイラストで紹介されており、児童にとってわかりやすい。
- 「交通事故の防止」では、車の特徴や自転車の整備・点検についてなど、児童が普段あまり知らないことや、つい疎かにしてしまうことに焦点を当てている。
- 「アルコールの害」では、20才になるまで法律で禁止されていると太字での明記や、脳や肝臓がダメージを受けている具体的な写真資料がある。
- 保健の広場では、なやみ相談先の電話番号やホームページアドレスなどの明記がある。

4 表記・表現について

- 明るい色合いで、見ていて楽しくなる。説明キャラクターと、挿絵の人物の描き方に違いがある。
- 学習活動が枠で囲われており、今どの部分を学習しているのかが明確である。
- 大切な部分は、太字や赤文字での表記になっている。
- いろいろなミニコラムなどが、マークで表記されている。
- 3・4年 2 育ちゆく体とわたしでは、個人差について「ちがいを認め合い」という表現がよい。
- 5・6年 1 心の健康 3 不安やなやみでは、具体的な対処の仕方の例が記述されており、児童にとって対処法が考えやすい。

5 全体的な特徴・その他

- 食育・保健の広場・他の教科とのかかわり・知っておくためになる・関連するホームページ・はってんなど工夫されている。
- 挿絵が多く、色使いがカラフルで目を引くが、情報量が多く、児童にとって学習内容や学習のポイントを絞りづらくしている印象がある。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	体育
----	----

種目	保健
----	----

発行者略称	学研
-------	----

教科書名	新・みんなのほけん3・4年 新・みんなの保健5・6年
------	----------------------------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- 各項目の始めに「ここで学ぶこと」が示されており、実生活に即した場面をもとに話し合わせたり考えさせたりする活動を取り入れることで基礎的・基本的な内容を理解できるように工夫されている。
- 各項目ごとに習得した知識などを活用し、考えて判断する項目を設けているので、児童の思考力・表現力の向上につながる。

2 内容について

- 本時の課題→話し合う→調べる→まとめるという流れになっているので、児童の思考がとぎれないように配慮されている。
- 「かつよう」の項目では学んだことや自分で考えたことを記述し、考えを深めることができるようになっている。また、「学習のまとめ」では「学びをいかして」「明日につなげる」という項目を設け、表現力を高める工夫がされている。
- 「もっと知りたい、調べたい」を設け調べ学習を通して児童が主体的に学習できるように工夫されている。

3 資料について

- 学習課題が明示されており、本時の課題が捉えやすい。
- 教科書自体が大きい割には資料等が少ない。記述欄も少ないので、別のノートやプリントなどを用意しないと学習がスムーズに進められない。
- 3・4年 1 毎日の生活と健康では、自分の生活を振り返る「チェック欄」もあり、考える場面も授業の中で設定しやすい資料である。またP6, 7の1日の生活のしかたでは、2人の生活のしかたの表が縦に並んでおり、比較しやすい。「もっと知りたい、調べたい」という各単元ごとに学習を振り返るページがあり、多く記述できるようになっている。
- 3・4年 2 育ちゆく体とわたし P20では、1年間の身長伸びを児童自身でテープを貼り伸びを実感する活動ができるようになっている。
- 5・6年 1 心の健康ではP6「心ってどこにあるの」としての発展的学習の中で、心と脳の関係の資料が児童にとって興味深い資料である。また、3不安やなやみへの対処方法の記述欄が、効果的で「不安やなやみの経験」が児童の気持ちが文章化家されており、児童にとってわかりやすく共感しやすい文面である。
- 5・6年 2 けがの防止ではP17の人の行動と環境、心の状態や体の調子を関連させながら記述させる欄があり、効果的である。またP18交通事故の防止での「自動車の内輪差」の説明がわかりやすい。
- 自然災害に備えてP24からでは、身を守る方法を写真や具体的なイラストで紹介されており、児童が調べる活動を重視している。

4 表記・表現について

- 5・6年 3 病気の予防P34「ていこう力って何だろう」では、写真やわかりやすいイラストで、感染ルートや抵抗力の説明が詳しく記述されている。
- 交通事故を防ぐための資料が写真であり、そのレイアウトが見やすい。
- 「ここで学ぶこと」として、学習課題が明確であり、児童にとってわかりやすい。
- 文章の中で、特に大事な語句が濃くなっていたり、いなかたりしているので、児童も教師もどこが大事なポイントなのかわかりにくい。
- まとめが短く、文章表現も曖昧な点があり、児童が学習を深く捉えることが難しい。

5 全体的な特徴、その他

- 学習課題の明示や学習の流れがしっかりとできているので、学習は進められる。
- 全体的に記述欄が少ないので、児童の思考力や表現力を育成することにやや欠ける。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	体育
----	----

種目	保健
----	----

発行者略称	東書
-------	----

教科書名	新しいほけん3・4年	新しい保健5・6年
------	------------	-----------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の目標・内容に即した学習課題が、「学習の課題」として明確に設定されているとともに、基礎的・基本的な学習内容が本文に簡潔にまとめられている。 ○各単元の学習において、児童の実生活に即した場面を設定し、そこから課題を見出し、実践的に基礎的・基本的な内容が理解できるよう工夫されている。 ○学習指導要領の改善の基本方針に示された「保健の内容の体系化」に対応し、「つなげよう」のコーナーを随所に設け、系統性をもった学習ができるようにしている。 <p>2 内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入では、作業や資料を通して学習課題を明確につかむことができるようになっている。また、毎時間の学習課題が明確に設定されている。 ○基礎的・基本的な学習内容が本文に簡潔にまとめられている。 ○学習活動が、「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」など明確に提示されており、児童が学習の流れを理解しやすいように工夫されている。 ○「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、教科書に自分の考えを書き込んだり、意見を交流したりする場面が設定されている。また、「活用して深めよう」では、学習したことをもとに自分の考えを深めるための工夫がなされている。 ○各単元末に「学習を振り返ろう」のページが設定されており、学習内容を普段の生活にいかしていくことができるように構成されている。 ○「広げよう」や「資料」のコーナーに、学習内容に関連する情報が提示されており、児童が主体的に調べ学習ができるようになっている。 ○「けんこうな生活」では、理想的な生活行動の一つ一つがパズルのピースとして描かれており、それらが組み合わさることで健康な生活が成立するということがとらえやすくなるよう工夫されている。 ○「育ちゆく体とわたし」では、入学時からの身長伸びを表とグラフに表す活動を通して、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○「心の健康」では、児童が遭遇しそうな場面を設定し、その対処の仕方や心の状態を考えながら課題解決が図れるように構成されている。 ○「けがの防止」では、具体的な場面を複数提示し、児童の経験を振り返りながら学習することで、考えを深めることができるよう工夫されている。また、発展的な学習として、「自然災害によるけがの防止」を取り上げている。 ○「病気の予防」では、病気が、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることが、一目でわかりやすい資料を掲載している。また、「資料」のコーナーで、児童にとって身近なインフルエンザについて、感染者報告数の推移のグラフとともに詳細に示している。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○記述欄が多く、自分の考えを書く活動を多く取り入れることができ、既習事項を生かして思考し、判断して表現する能力を高めることができるよう工夫されている。 ○自然災害では身を守る方法が写真や具体的なイラストで紹介している。 ○「事故やけがの原因」では、児童に実際に起こりうる場所や状況を見やすい図で表記し、身近な問題として児童に考えやすい工夫をしている。 ○「ひろげよう・つなげよう」が設けてあり、他教科との関連性がわかりやすく、補充資料が豊富であり、発展的な学習ができるよう工夫されている。 ○各単元の扉ページで、学習内容にかかわった写真を取り上げている。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで構成されており、大変見やすい構成になっている。 ○各単元の扉のページで、学習内容に沿った写真が掲載されており、導入しやすい。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1単位時間ごとにタイトルを設け、学習指導要領の配列・内容と対応しやすいように工夫されている。 ○1見開き1単位時間の構成となっており、見通しをもって学習できるようになっている。 ○「課題提示」→「学習方法の提示」→「まとめ」→「知識の活用」という流れで構成されており、思考・判断・表現する場面が多く設定されている。